

青学ビジネスフォーラム 2010（第3回）開催のご案内

青山学院大学では、「首都圏南西地域産業活性化フォーラム」の一翼を担う形で「青学ビジネスフォーラム」を2004年に立ち上げ、地域の企業の方々との交流を促進し、産学連携ビジネスに結びつける努力をしております。

以下に2010年度第3回の講演会をご案内します。今回は日本が世界をリードしている携帯の研究開発について YRP（横須賀リサーチパーク）にご講演をお願いしました。ご希望の方は連絡先までお知らせいただきますようお願いいたします。

★青学ビジネスフォーラム（第3回）

主 催： 青山学院大学総合研究所

協 力： 首都圏南西地域産業活性化フォーラム運営委員会、相模原市

開催日： 平成 22 年 12 月 11 日（土曜日） 14 時から 16 時

場 所： 青山学院大学相模原キャンパス K 棟 2 階(209 号室)ミーティングルーム

会場案内図は青山学院大学ホームページをご覧ください。

お車でのご来場はお断りします。

定 員： 参加人数に制限はございませんが、事前に参加お申し込みいただけますと準備の都合上助かります。なお当日でも受け付けますのでお気軽にお越しください。

講演内容：

☆「日本における移動体通信の発展と今後」

講師：太田 現一郎（工学博士 株式会社横須賀テレコムリサーチパーク YRP 国際 ICT 技術戦略研究所 事業企画室次長）

マルコニーが無線通信に成功してから、わずか 115 年で、私達はだれしもが携帯電話を持ち、電話だけでなくメールや様々な情報を送り合う日々の生活を享受するに至りました。それらを支える 携帯電話の国内最大の研究開発拠点として誕生した横須賀リサーチパーク(YRP)をご紹介しますとともに、“ガラパゴス”化した我が国を前向きに捉え、身近に迫ったクラウド・ネットワーク社会への扉を開いてみたいと思います。

クラウド社会では、様々な情報通信機器が身の回りに誕生し、皆さんを助けます。クラウド社会を もたらしたものは、情報通信の高速化、メモリーの大容量化、情報通信機器の小型化、そしてそれらの コストの急速な低廉化であり、それらがムーアの法則に従い 2 年で 2 倍の速度でこれからも成長し続けることにあります。

現在、60 歳以上でインターネットを利用できる人口は、10%程度ですが、10 年後の 60 歳以上の方々は 50%以上の方々がインターネットを使えます。

急速に変わる仕事のしかたや生活のしかたについて、様々な情報通信技術と、クラウド社会の一端をご紹介します。

☆「YRPテストベッドのご紹介」

講師：佐藤 美保（株式会社横須賀テレコムリサーチパーク YRP 国際 ICT 技術戦略研究所 事業企画室 主任）

講師：中村 稔（株式会社横須賀テレコムリサーチパーク YRP 国際 ICT 技術戦略研究所 事業企画室室長）

日本国内の携帯電話は、国内のメーカーや通信事業者の優れた技術力により先進的な発展を遂げてきました。しかし、その一方で、世界的には欧州で誕生し、日本では使用されていない通信方式による携帯電話が普及し、世界人口カバー率が 80%に達しており、世界市場における日本メーカーの携帯電話の普及はまだまだと言わざるを得ない状況です。とはいえ、携帯電話の世界市場はこれから益々広がっていく可能性はあり、日本メーカーが世界市場へ進出、市場を拡大していくことは大変重要となってきます。

横須賀リサーチパーク（YRP）では、国内の携帯電話メーカーが、海外で使える、あるいは海外のユーザに利用してもらえる携帯電話の開発し、世界市場で活躍してもらうために、海外の通信試験環境(テストベッド)を構築いたしました。

本講演では、通信試験環境（テストベッド）の構築の背景、構築した試験環境の概要、そして、今後の取り組みについてご紹介します。

★ 青学ビジネスフォーラム講演内容は、南西フォーラムのサイトからリンクをたどりユーザ登録をすることで、インターネット画像でご覧になれます。

南西フォーラムのサイト <http://nansei.ssz.or.jp>

★ 参加申込み方法 （当日まで受け付けます）

電子メールないし FAX で以下の内容を事務局宛にお知らせください。

・氏名 ・企業名 ・住所 ・電話/ファックス番号 ・E-mail

★ 参加申込み先 （事務局）

宛先：青学ビジネスフォーラム事務局 水澤純一

住所：〒252-5258 相模原市中央区淵野辺 5-10-1 青山学院大学理工学部 O 棟 501 号室

TEL： 042-759-6318

FAX： 042-759-6495

E-mail： mizu@it.aoyama.ac.jp